

1 2. be 動詞＋形容詞＋that

楽しい？悲しい？

目標：タスクを通して主語＋be 動詞＋形容詞＋that の形の文を理解し使えるようにする 時間：17 分

対象：中学 2 年生

準備物：ハンドアウト、パワーポイントスライド

このタスクの進め方

○Pre-task

1. 教師が三つの会話を聞かせ、生徒はそれらの会話をきいて、ハンドアウトに聞こえたことを書いていく。

(例) T: Hi! Mickey! You look happy.

Mickey: Hi! Teacher! Yes. I am happy that we do not have any homework.

2. もう一度、会話を聞いて、正しいほうに○をつける。
3. Noticing として、主語＋be 動詞＋形容詞＋that の形の説明をする

○Task

1. ハンドアウトの Model dialog をもとに、タスクの説明を行う
2. ビンゴを用いてタスクを行う。
3. 生徒は、ビンゴ内のことに対して三つの感情から、自分に合ったものを選び、Model Dialog に沿って他の生徒と会話をしながら、自分と相手の感情が同じ場合には丸をつける。
4. ビンゴ終了後、生徒にいくつビンゴできたかを聞き、そのあと、ビンゴカードの下の部分に、今回、会話で使った文を一つ書かせる。

ワンポイントアドバイス

- ・ Step2 の文は Noticing のためにも、リピートすること
- ・ Step4 のビンゴの内容は、生徒同士で被りやすいものなるべく入れておくこと。
- ・ ビンゴ内の内容の確認をビンゴを始める前にしておくこと。

(川上 航)